

小国杉



熊本県産ブランド杉『小国杉』について

河津製材所 <http://www.ogunisugi.jp>

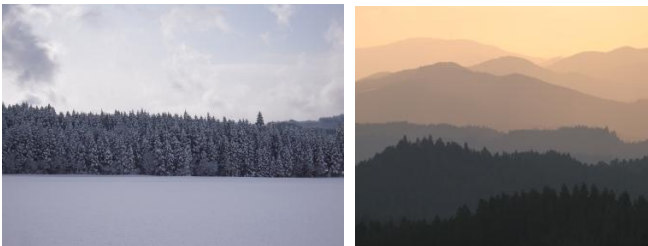
小国杉の歴史

優良な親木の性質がそのまま
伝わる挿し木苗の植林方法をとっており、山全体が均一の
性質を持っています。

この管理方法には 250 年もの歴史があります。強靱な材で、
台風などの災害にも強く折れにくいことで有名です。
特有の粘りと艶があり、建築や家具などに多く使用されています。
また樹齢 50~80 年のスギは建物の骨格に使われる材木として
最適で、しかも小国杉は有機酸の放散が少なく、木材特有の
調湿機能や窒素酸化物の除去能力にも優れていることが
わかっています。

九州のほぼ中央に位置する小国町、南小国町地域に植林され
ているスギ材を小国杉と称しています。

標高 400~800mほどの山間寒冷地帯で
夏は涼しく厳冬で -5°C 以下になることがあり積雪もあります。



平均気温は 13°C と低く年間降雨量は 2500mm と多い。
この環境が小国杉育成に大きく関わっています。

